

平成28年度事業評価

《 2次評価【理事会による評価】 》

【28年度事業の評価】	A 大変良い(大いにある)	B 良い(ある)		
	C ふつう(少しある)	D 良くない(ない)		
【今後の方向性】	a 拡大	b 継続	c 一部見直し	d 見直し

(1) 市民文化の創造及び育成に関する事業

28年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	A
評価説明	<p>演劇や音楽を通じ劇場自ら創造発信する「厚木シアタープロジェクト事業」に重点を置き、あつぎ舞台アカデミー公演「ドリーム・ドリーム・ドリーム～season6～」を実施したほか、扉座公演「郵便屋さんちょっと2016」や「歓喜の歌」など、合わせて4事業を実施した。</p> <p>本事業については、劇場自らが発信する創造的な事業として充実した内容で実施できた。特に、あつぎ舞台アカデミーでは子どもたちが自らが参画する事業として、第一線の講師陣を配置しての人材育成など所期の目的を達成している。</p>							
今後の方向性	b	<p>あつぎ舞台アカデミーは継続して実施していく。</p> <p>現行事業の推進を図りながらも、今後における「市民文化の創造及び育成」に向けた事業の在り方、展開等について研究を進める。</p>						

(2) 市民文化の普及及び振興に関する事業

28年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	A	有効性	B
評価説明	<p>5月第2日曜日のイベントとして定着している「厚木ジャズ祭2016」を開催したほか、「Sコンサート」及びアウトリーチ事業として市内小中学校5校に訪問し、計9公演の出前コンサートを実施した。また、前年度好評であった、「スタインウェイピアノを弾いてみよう」を4日間実施した。NHK公開収録「歌う！学校SHOW」を実施し幅広い年齢層を対象に事業展開が図られた。アウトリーチ事業については、未来を担う子供たちに本物の芸術を提供できた。</p> <p>Sコンサート及び出前コンサートでは、地元在住の音楽家を出演して頂き、多くの人に気軽に鑑賞機会の提供並びに演奏機会の創出という相乗効果が得られた。</p>							
今後の方向性	a	<p>メニューのより一層の充実と、「市民文化の普及及び振興」にふさわしい事業展開について研究を進める。</p>						

(3) 芸術文化の鑑賞機会の提供に関する事業

28年度事業の評価	必要性	A	妥当性	A	効率性	B	有効性	A
評価説明	音楽、演劇、伝統芸能の公演や美術展を17事業19回開催し、市民を対象として、子どもから大人まで幅広く、優れた芸術文化の鑑賞機会を提供した。身近で気軽に芸術鑑賞をしていただくため、ニーズと必要性を踏まえた事業の選択に努めた。							
今後の方向性	b	市民ニーズを把握に努め、文化会館ならではの質の高い芸術鑑賞の機会を提供していく。一方でニーズが多くない事業についても、必要性とのバランスを考慮しながら提供していく。						

(4) 文化情報の収集及び提供に関する事業

28年度事業の評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評価説明	厚木市文化会館で開催する公演情報を広く市民に提供するため、厚木市文化振興財団ニュース「ぶんか情報館」を年6回発行し、市広報紙に折り込み、市内全世帯及び友の会会員へ配布。また、毎月、「厚木市文化会館スケジュール」を発行し、公共施設等での配架を通して市民に周知を図った。さらに、インターネットを活用して、ホームページやフェイスブックに各種の公演情報や施設利用案内等を掲載した。アナログとデジタルの両面からの情報提供に努めた。情報発信の重要性を認識して、充実していく。							
今後の方向性	a	情報発信を更に推進するため、「ぶんか情報館」及びホームページ等の内容の充実を図り、来館者や事業参加者の増加に努める。						

(5) 芸術文化振興に関する調査研究に関する事業

28年度事業の評価	必要性	B	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評価説明	事業計画の立案に資するため、各種事業への参加者アンケートや会館利用者アンケートを実施しているが、回収数が少なく増加に向けた取り組み必要である。							
今後の方向性	b	有効な事業展開において、幅広い市民からニーズを把握することは重要。アンケート調査は有効な手段であるので、調査手法等の研究を進める。						

(6) 芸術文化振興のための国際交流に関する事業

28年度 事業の 評価	必要性	妥当性	効率性	有効性
評価 説明	「カナガアワビエンナーレ国際児童画展 巡回展」を隔年実施。当年度は実績無し。			
今後の 方向性	b	子供たちの国際性を養うために、事業そのものは非常に有意義であるので、継続していく。		

(7) 文化施設の管理運営に関する事業

28年度 事業の 評価	必要性	A	妥当性	B	効率性	B	有効性	B
評価 説明	厚木市文化会館の指定管理者として、利用者に当会館を最良の状態でご利用いただけるよう施設の適正な管理運営に努めた。 財政状況の厳しさが進む中で、施設の老朽化に伴う修繕等の経費の増加が見込まれるが、一層の管理の効率化を図っていく。 さらに、今後も、利用しやすい施設運営を探求し、改善に向けて取り組んでいく。							
今後の 方向性	b	利用者の安心安全を第一に考え、厚木市所管課と連携しながら、施設の適切な維持を基本として管理に努めるとともに、より効率的な施設運営を図っていく。 また、利用率の向上に向けての工夫や環境整備を進めていく。						